

## ●『<sup>とき</sup>なぐさめの時期 ～スピリチュアルペインのいやし～』アウトライン

～天に召されるその日まで④～

メッセージ：角本尚彦牧師（2008/7/6 礼拝）

使いかた：①メッセージを聞きながら空欄に記入。②気付いたことを余白にメモ。③自宅で復習。

### コリント信徒手紙第二 1章3-5節

わたしたちの主イエス・キリストの父である神、慈愛に満ちた父、慰めを豊かにくださる神がほめたたえられますように（3節）。神は、あらゆる苦難に際してわたしたちを慰めてくださるので、わたしたちも神からいただくこの慰めによって、あらゆる苦難の中にある人々を慰めることができます（4節）。キリストの苦しみが満ちあふれてわたしたちにも及んでいるのと同じように、わたしたちの受ける慰めもキリストによって満ちあふれているからです（5節）。

## 1. 神の \_\_\_\_\_ をほめたたえる

慰めを豊かにくださる神がほめたたえられますように（3節）。

- 目的地がわからない旅（神を知らない状態）⇒生まれ故郷にたどりつく（神に出会う）⇒慰め
- 「慰め」として遣わされて来たイエス・キリストを感謝する
  - ・ そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい人で信仰があつく、イスラエルの慰められるのを待ち望み、聖霊が彼にとどまっていた。そして、主が遣わすメシアに会うまでは決して死なない、とのお告げを聖霊から受けていた。（ルカ2・25-26）
  - ・ 悲しむ人々は、幸いである、その人たちは慰められる。 . . . 喜びなさい。大いに喜びなさい。天には大きな報いがある。（マタイ5・4、12）。
  - ・ . . . 悔い改めて立ち帰りなさい。こうして、主のもとから慰めの時が訪れ、主はあなたがたのために前もって決めておられた、メシアであるイエスを遣わしてくださるのです。（使徒3・19-20）
- 大切なのは、「あなたが誰であるか」ということ（「あなたが何をするか」ではない）。
  - ・ それでわたしたちは、聖書から忍耐と慰めを学んで希望を持ち続けることができるのです。忍耐と慰めの源である神が、あなたがたに、キリスト・イエスに倣って互いに同じ思いを抱かせ、（ローマ15・4-5）

## 2. 今、キリストが \_\_\_\_\_ を確認する

わたしたちの受ける慰めもキリストによって満ちあふれている . . .（5節）

- 「慰め」＝主イエスが共におられること（インマヌエル）
  - ・ 「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。（マタイ1・23）
  - ・ わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。（マタイ28・20）
- 「慰め」＝あなたに遣わされた聖霊が、「主イエスが今あなたと共にいる」ことの保証
  - ・ この霊があなたがたと共におり、これからも、あなたがたの内にいるからである。（ヨハネ14・17）
- 主イエスの祈り（願い）＝あなたと共にいること
  - ・ 父よ、わたしに与えてくださった人々を、わたしのいる所に、共におらせてください。（ヨハネ

17・24)

●救い＝キリストと共に死に、葬られ、共に復活させられること

- ・ 罪のために死んでいたわたしたちをキリストと共に生かし、．．．キリスト・イエスによって共に復活させ、共に天の王座に着かせてくださいました。(エフェソ2・5-6)
- ・もし子供であれば、相続人でもあります。神の相続人、しかもキリストと共同の相続人です。(ローマ8・17)

●「慰め」は「永遠の希望(天国、永遠の命、新しい霊の体)」によってもたらされる

- ・そのかなめ石はキリスト・イエス御自身であり、キリストにおいて、この建物全体は組み合わされて成長し、主における聖なる神殿となります。キリストにおいて、あなたがたも共に建てられ、霊の働きによって神の住まいとなるのです。(エフェソ2・20-23)

### 3. なぐさめの \_\_\_\_\_ にでかける

わたしたちも神からいただくこの慰めによって、あらゆる苦難の中にある人々を慰めることができます。(4節)

●主イエスの訪れ＝慰め

- ・さて、イエスが行って御覧になると、ラザロは墓に葬られて既に四日もたっていた。マルタとマリアのところには、多くのユダヤ人が、兄弟ラザロのことで慰めに来っていた。(ヨハネ11・17-19)

●復活の希望＝慰め

- ・(イエスは)こう言ってから、「ラザロ、出て来なさい」と大声で叫ばれた。すると、死んでいた人が、手と足を布で巻かれたまま出て来た。顔は覆いで包まれていた。イエスは人々に、「ほどういてやって、行かせなさい」と言われた。(マタイ11・43・44)

- ・人々は生き返った青年を連れて帰り、大いに慰められた。(使徒20・12)

●聖書の勧め＝あなたがた慰めの務めに遣わされること

- ・そこで、あなたがたに幾らかでも、キリストによる励まし、愛の慰め、“霊”による交わり、それに慈しみや憐れみの心があるなら、同じ思いとなり、同じ愛を抱き、心を合わせ、思いを一つにして、わたしの喜びを満たしてください。何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。互いにこのことを心がけなさい。それはキリスト・イエスにもみられるものです。

(フィリピ2・1-5)

- **今週の歩み**：「今あなたと共にいる主イエスに倣い、慰めの務めを果たしていただけますか？」
- **今週の祈り**：「主イエスよ、きのうも今日もとこしえに変わらず私と一緒にいてくださることを心に刻ませてください。復活の希望の福音を携えて、家庭・学校・職場において、慰めの務めに遣わしてください。アーメン」
- **暗唱聖句**：1章5節(本日配布された「暗唱聖句しおり」を利用しましょう)

☆ 今週は、『人生を導く五つの目的』のp-をあわせて読みましょう。